

「横浜市営交通カレンダー2022」 市営地下鉄開業50周年記念カレンダー発売！



毎年ご好評をいただいている「市営交通カレンダー」を10月15日（金）に発売します。

写真家の森日出夫氏が撮影した夜の上永谷車両基地に並ぶ市営地下鉄ブルーラインの写真が表紙を飾り、一般公募で応募いただいた257作品の中から採用された12作品が各月を彩ります。

また、2022年の市営地下鉄開業50周年を記念し、地下鉄をクレーンで吊り上げる日頃見ることのできないダイナミックな保守点検の写真も掲載されています。

市営交通の魅力・横浜の街の魅力がいっぱいに詰まった、お勧めの一冊です！

1 「横浜市営交通カレンダー2022」概要

- 仕様 壁掛けタイプ、正方形（25cm×25cm）
- 発売日 令和3年10月15日（金）
- 販売価格 1冊1,000円（税込） ※WEB販売のみ1,300円（税込）
- 販売数 1,700冊（売り切れ次第終了）

2 「横浜市営交通カレンダー2022」販売場所

- 地下鉄12駅事務室
（あざみ野・横浜・上大岡・湘南台・中山・日吉 ほか）
- お客様サービスセンター（センター南・横浜・上大岡）
- はまりんコンビニ（一部）
- 横浜市電保存館（磯子区滝頭）
- AmazonによるWEB販売
- 沿線の一部書店 ほか

※詳細は、（一財）横浜市交通局協力会ウェブサイトをご確認ください。
<https://www.kyouryokukai.or.jp/original-goods/#calendar>

※環境に配慮し、手提げ袋を用意していない販売場所もあります。
マイバックの持参にご協力ください。



横浜市営交通カレンダー2022 表紙
（写真家・森日出夫氏 選考・監修）



【森日出夫氏 全体講評】

100周年を迎え市営交通への関心も高まる中の公募でもあり、市営交通の姿を、斬新なアングルから捉えた写真が多く寄せられました。

その中でも、横浜の街、海や空を背景に、人々の日常を支える地下鉄やバスの活躍する姿が構図の中にもうまく表現された作品を選ばせていただきました。

前年に続き正方形を採用することで、縦横それぞれの作品がバランスよく配置され、12月に地下鉄開業50周年を迎える横浜の市営交通らしいカレンダーができあがりました。

3 カレンダー掲載写真（応募者数：81名／応募作品数：257作品の中から採用）

 <p>(撮影者:帆苅 悟さん)</p>	 <p>(撮影者:尾形 憲昭さん)</p>	 <p>(撮影者:尾形 憲昭さん)</p>
<p>1月「ヨコハマレトロ」</p>	<p>2月「みなとみらいオールキャスト」</p>	<p>3月「100×4」</p>
 <p>(撮影者:立花 幸子さん)</p>	 <p>(撮影者:立花 幸子さん)</p>	 <p>(撮影者:加納 良英さん)</p>
<p>4月「満開の大岡川の桜と市営バス」</p>	<p>5月「ベイスайдブルーと園児たち」</p>	<p>6月「ニュータウン」</p>
 <p>(撮影者:海老塚 土史木さん)</p>	 <p>(撮影者:森田 一樹さん)</p>	 <p>(撮影者:@journey_me_さん)</p>
<p>7月「駆け上がった その坂で」</p>	<p>8月「早瀬川を渡る」</p>	<p>9月「casual everyday」</p>
 <p>(撮影者:三浦 大介さん)</p>	 <p>(撮影者:榎森 史哲さん)</p>	 <p>(撮影者:鈴木 則道さん)</p>
<p>10月「万国橋とイチョウ並木」</p>	<p>11月「イチョウの坂道」</p>	<p>12月「遊べる遊水地」</p>

※写真データが必要な場合は、問合せ先にお申し付けください。

4 応募概要

募集期間：令和3年6月21日（月）～7月28日（水）

応募人数：81名（年代：10歳未満－1名、10代－5名、20代－8名、30代－8名、40代－11名、50代－14名、60代－11名、70代以上17名、未記入－6名）

応募作品数：257作品

お問合せ先

（市営交通カレンダー2022全般について）

一般財団法人横浜市交通局協力会 営業課長 安藤 力 Tel 045-253-9797

（駅事務室での販売等について）

交通局総務課企画担当課長 森 香里 Tel 045-671-3672